

2006年7月吉日

TOSCA-TW ユーザー 様

東京KTR委員会  
株式会社エヌサイト

### TOSCA-TW Ver5.04 のご案内

毎度、強度計算書作成システム TOSCA-TW をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。  
このたびいくつかのプログラム変更を行い、TOSCA-TW Ver5.04 として、御提供させていただくことになりましたので、下記方法にしたがい、バージョンアップを実行していただくよう、お願い申し上げます。  
お手数をお掛け致しますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

－ 記 －

#### 1. 変更箇所

関連書式	変更内容
B 様式全て、 H-03, H-04	規格降伏点の温度補正の修正 ※規格降伏点は常温(40度)の値とする。
E-02 (E-09)	エラーメッセージで図表外エラーが起こっている場所を示す数のズレの修正。 ※(7)K 値=A/B (8)T 値 (9)U 値の図表外エラー表示位置がずれていた。 ※計算結果には問題なし。
F-05	計算書様式 F-05 「穴の補強」において、[21]強め材厚さと[22]強め材外形を 0 にしたい場合(補強板を取り付けない場合)、許容範囲外エラーとなり、入力ができなかった。 [21]強め材厚さと[22]強め材外形に 0 の入力を可能とした。
A 様式全て、 C-01, 04, 05	最小板厚の処理(第2節6条) DB にない材料を入力した場合、最小板厚の処理は従来行われていなかったが、今回からユーザの入力欄(1.5mm 2.5mm 3.5mm のいずれか)を設ける。 (1)DB にある材料の場合は、これを優先し、ユーザ入力の最小値も DB に合わせる。 (2)DB にない材料の場合は、ユーザ入力値を使用する。 (3) ユーザ入力のデフォルト値は 3.5mm とする。
D-01	電熱管の外径(d0)とピッチ(Pt)で不正な組み合わせを入力すると、取り付けピッチによる係数がマイナスとなり、平方根の計算に支障が出る。そのためにデータが不正となり、読めなくなった。 事前にチェックし、データ不正とならないように、エラーを出すように変更した。
B 様式全て、 H-03, H-04	通常は DB1 ボタンで規格降伏点を求めるが、誤って DB2 ボタンを押すと、プログラムがエラーを起こして終了してしまうことへの対応。

## 2. 製品構成

### (1) パッチファイル版

- ①TOSCA-TW Ver5. 01 以降を購入されたユーザー様に無償でご提供する製品です。
- ②過去のパッチファイル(Ver5. 02、Ver5. 03)における変更内容も含んでいます。

### (2) 製品版

- ①新規、または TOSCA-TW Ver5. 01 以前のバージョンをご利用しているユーザー様向けの製品です。
- ②製品版の購入に関しては、弊社ホームページを参照してください。

<http://www.nsynt.co.jp>

## 3. パッチファイル版のインストール方法

弊社ホームページ 製品紹介における、TOSCA-TW のダウンロードページで配布します。

<http://www.nsynt.co.jp/product/tosca/download.html>

- (1) 上記ホームページ上から、TOSCA-TW のパッチファイル(tw504update.exe)を右クリックして、ファイルの保存を行ってください。
- (2) ダウンロードした「tw504update.exe」を起動してください。
- (3) アップデートの確認ダイアログが表示されます。
- (4) 「はい」をクリックすると自動的にアップデートが実行されます。
  - ※フォルダ選択画面が表示された場合は、TOSCA-TW をインストールしたフォルダを指定してください。
  - ※TOSCA-TW を別のパソコンで動かしている場合は、このファイルをコピーして、ご利用してください。
- (5) インストール終了後、TOSCA-TW を起動してください。
- (6) 起動した画面のバージョン情報が、「Ver5. 04」であれば、インストールは正常終了しています。
- (7) ダウンロードしたファイル「tw504update.exe」は、削除してもかまいません。

以上